



4現場に認定証伝達

帯広労働書 快適職場推進計画で

【帯広】帯広労働書は14日、働きやすい職場環境づくりに取り組む管内4現場に快適職場推進計画の認定証を伝達した。

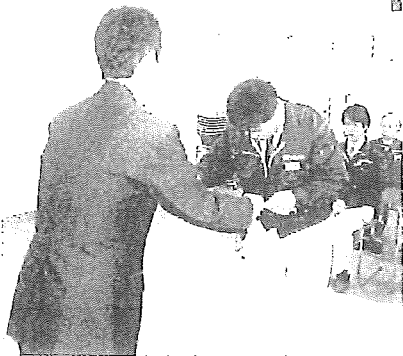
猿別川改修サッチャルベツ川地区(高堂建設)、豊成小学校舎改築建築主体(宮坂・ネクス・市川・北の羽生署長(右)から各現場代理人に認定証を手渡した

ハウス共同体)、帯広市大空団地3街区市営住宅全面的改善建築主体光3号棟(同)、清水大樹線改築中札内橋上部架設(斉藤井出建設)の4現場。

主な取り組みを見る。と、豊成小の現場は、工事車両と通学児童の交通事故を防ぐため、出入口付近に一時停止標識とカーブミラーを設置するとともに、出入口付近の仮囲いを透明にして見通しをよくしている。大空団地3街区の現場では、現場事務所に自動販売機を設けて低価格で

販売している。

羽生和彦署長は、管内建設業災害の発生が小康状態になったとの認識を示す一方、年間累計では依然として前年を上回る状況のため、引き続き安全対策の徹底を要請した。



快適職場推進計画―帯広労働書

4事業場に認定証伝達

健康、地球環境にも配慮

【帯広発】帯広労働書は14日、快適職場推進計画認定証の伝達式を挙げる。羽生和彦署長が先進的な取組をたたえながら、4事業場

「猿別川改修サッチャルベツ川地区」(小池厚史現場代理人、宮坂・ネクス・市川・北のハウス特定JVが施工する「豊成小学校舎改築建築主体」(小野直理現場代理人)と、「大空団地3街区市

住全面的改善建築主体光3号棟」(池田博幸現場代理人)、斉藤井出建設(株)が施工する「清水大樹線交直改築中札内橋上部架設」(宮野和美現場代理人)の4事業場。各現場代理人や関係者ら7人が出席し、羽生署長が現場代理人一人ひとりに認定証を手渡した。

このあと、各現場代理人が取組を説明。一現場内を作業中は禁煙とし、喫煙は休憩時間のみとする。「資材置場を確保して現場内の整理整頓を図る」「重機や運搬作業車の不必要時のアイドリングストップを徹底し、排出ガスの低減を図る」など、事故の防止や作業員の健康、地球環境にも配慮した取組の数々を紹介した。

羽生署長は「皆さんが計画した素晴らしい取組を着実に実行して、安心して安全な職場をつくってほしい」と呼びかけた。